

◇ MR2300 EMI試験システムは様々な製品にお使いいただいています。
今回は貨幣処理機器などを製造している日本金銭機械株式会社様を紹介します。

[お客様紹介 ~*Introduction*~]

日本金銭機械株式会社(JCM)様では、貨幣処理機器、金融関係機器、金銭登録機、遊技場向関連機器の製造・販売を行っております。貨幣処理機器は世界110通貨以上で使われており、中でも、北米・欧州のゲーミング市場でのシェアは圧倒的。業界特有の厳しいレギュレーションを全てクリアし、多くのライセンスを取得しています。

今やJCMはカジノ用紙幣識別機の代名詞ともいえるほどになり、現地対応力をアドバンテージに地球規模の市場で活躍されています。このような業界をリードするお客様からMR2300 EMI試験システムは選ばれています。

[インタビュー ~*Interview*~]

*日本金銭機械株式会社 研究開発部 担当者様との一問一答

Q1) MR2300 EMI試験システムを選定した理由を教えてください。

A1) 弊社のEMI測定サイトが大阪にあり、今まではEMI評価を行う場合東京から大阪に出張していました。大阪にしか測定サイトがないので、評価、対策を行うと出張費がかさみます。そこで東京である程度測定することが出来れば大阪での滞在時間が短くて、経費削減になると考え購入を決めました。

Q2) EMI試験システムをどのような製品でお使いですか？

A2) 紙幣識別機 (UBAシリーズ、iVIZION、iPROシリーズ、TBVシリーズ) です。

Q3) EMI試験システムをご使用の目的を教えてください。(製品開発、製品検査、品質管理など)

A3) 開発部署での評価に使用しています。(製品開発)

Q4) ご使用の感想をお聞かせください。

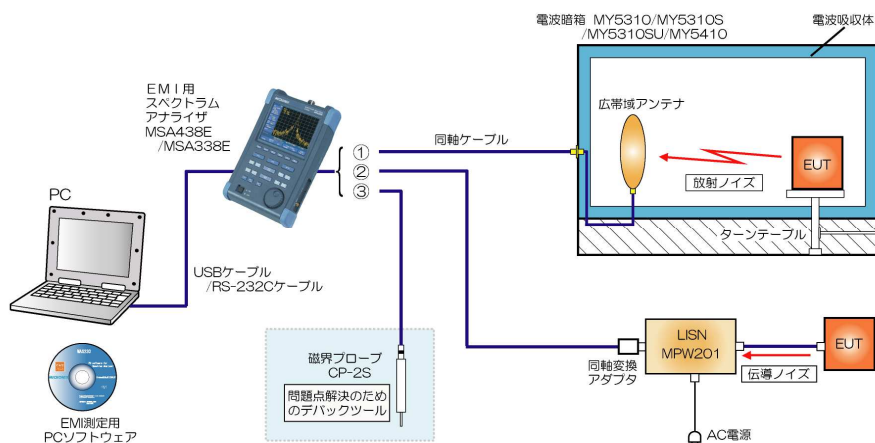
A4) 本社のEMI測定サイトでの測定値とは差はあるものの、対策の前後の比較、どの周波数にピークがあるかがわかるのでとても重宝しています。

Q5) 測定の際工夫されていることはありますか？

A5) 本社のEMI測定サイトの結果に近づけるため、合格基準を調整して対応しています。



紙幣識別機 UBAシリーズ



MR2300 EMI試験システム